

## 2018年春派遣

### APUーザルツブルク応用科学大学(オーストリア) 学部共同学位プログラム募集要項



出願期間	2017年6月21日(水)～7月10日(月) 16:30
書類審査結果発表	2017年7月14日(金) *あなた宛の重要なお知らせ
個人面接実施予定	2017年7月19日(水)～21日(金)*予備日24日(月)
学内選考結果発表	2017年7月31日(月) *あなた宛の重要なお知らせ
受入先による面接(未定)	*必要の場合のみ
最終選考結果発表	2017年10月上旬(予定)
内定者ガイダンス	渡航までに数回実施予定。 *場所・時間：後日連絡 *出席必須
出発	2018年2月初旬

## 目次

【プログラムの趣旨・概要】	2
1. 出願および選考について	3
(1) 出願条件	3
(2) 出願方法	3
(3) 選考基準	4
(4) 採用人数	5
2. 期間について	5
(1) 派遣期間	5
(2) 留学期間	5
3. 単位認定および留学中・帰国後の履修について	5
(1) 単位認定について	5
(2) 留学中と帰国後の履修について	6
(3) 言語教育科目(必修)の履修免除について(英語科目/日本語科目)	6
4. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて	7
5. 留学にかかる費用について	7

### <ザルツブルク応用科学大学について>

ザルツブルク応用科学大学は、1995年に設立した大学であり、17の学位プログラムと9つの修士プログラムを有する、約2,500名の学生が集う大学です。UrsteinとKuchlの2キャンパスがあり、APUとの学部共同学位プログラム実施に際して対象となる「Business & Social Science」学部の「Innovation & Management in Tourism (IMT)」プログラムはUrsteinで開設されています。通常、学位取得には3年間で180ECTSが必要で、授業言語は全て英語で実施されます。

※ECTS : European Credit Transfer System (欧州単位互換制度)

### <注意事項>

- ・書類不備や入力漏れがあった場合は選考の対象外となります。
- ・提出書類のコピーや入力情報の控えは、各自で控えておくようにしてください。
- ・申請時に提出する個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。
- ・近年、多くの国や地域で発生したSARS、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ、テロ活動などへの対策として、学生の安全を第一に考え、交換留学の派遣内定が取り消される場合もあります。あらかじめご了承ください。

# 2018 年春派遣

## APU・ザルツブルク応用科学大学(オーストリア) 学部共同学位プログラム募集要項

### 【プログラムの趣旨・概要】

この共同学位プログラムは、APU とオーストリアのザルツブルク応用科学大学(Salzburg University of Applied Sciences: 以下、SUAS)の学生が、所属大学の 2 年間と相手大学での 2 年間の留学をあわせて、合計 4 年間の学修を行い、両大学の学位取得が可能となるプログラムです。

年度	学年	在籍大学・学部
2017 年度	1 年生(1 セメスター～2 セメスター)	APU・アジア太平洋学部
2018 年度	2 年生(3 セメスター～4 セメスター)	SUAS・イノベーションマネジメントツーリズム学科 (Department of Innovation and Management in Tourism : IMT)
2019 年度	3 年生(5 セメスター～6 セメスター)	SUAS・イノベーションマネジメントツーリズム学科 (Department of Innovation and Management in Tourism : IMT)
2020 年度	4 年生(7 セメスター～8 セメスター)	APU・アジア太平洋学部

取得できる学位 APU: 学士 (アジア太平洋学) Bachelor of Social Science

SUAS: 経営学士

Bachelor of Arts in Business

4 年間で 2 つの学位を取得するのは決して楽なことではありません。常にモチベーションを高く持ち、4 年間を通じて勉強や課外活動などに積極的に継続的に取り組む必要があります。しかし、その結果得られる経験は、今後の国際化し続ける社会の中できっと大きな強みになるでしょう。

語学力を活かして人とは違った留学体験をしたい、国際的な場で様々なことにチャレンジしたい、観光分野の専門知識をもっと深めたい、1 年間の交換留学よりも長い期間の留学の夢を叶えたい、そんなみなさんの応募を待っています！

### このプログラムへの応募を検討されているみなさんへ

4 年間の半分をオーストリアで学ぶこのプログラムは、たくさんの刺激とチャレンジに溢れています。同時に大変な苦勞も覚悟してください。語学留学や短期留学と異なり、学位を取得することを目的とした留学となりますので、学ぶ分野への強い興味や、具体的な将来の目標を持つことがとても大切になります。現地での授業では、現地の学生と一緒に活発にディスカッションを行い、切磋琢磨しながら専門知識を身につけていきます。

その環境の中で学習するためには、高い英語力はもちろんですが、学修分野や興味関心のある分野、また派遣先のカリキュラムや科目についての知識を養っておくことと、そして何より留学先では、自らの意見を論理的に述べる力や、意見を聞いて考える力などが要求されます。応募を検討する際には、これらの点について意識をしながら、応募の準備をすることを強くお勧めします。

## 1.出願および選考について

### (1)出願条件

No.	条件	NOTE
1	通算 GPA 基準を満たす者	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 回生の通算 GPA が 2.80 以上であること。</li> </ul> ※出願時は、第 1 セメスターの成績のみで通算 GPA が 2.80 以上であることが条件。
2	言語基準に達している者	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEFL PBT(もしくは ITP): 537 点以上</li> <li>TOEFL iBT: 75 点以上</li> <li>IELTS: 6.0 以上</li> </ul>
3	2017 年春現在、アジア太平洋学部に在学する第 1 セメスターの者 (国内学生・国際学生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>このプログラムは 2~3 年生をオーストリアで学修するため、現在 1 セメスター目の学生しか応募できません。また、受入大学の専攻分野の関係上、アジア太平洋学部生のみが対象です。</li> </ul>
4	言語科目について 日本語基準の場合: 第 1 セメスター終了時に「英語中級」を修得済。 英語基準の場合: 第 1 セメスター終了時に「日本語初級」を全て修得済。	留学開始までに必修言語科目が履修済み予定であること。
5	ドイツ語の言語能力は問われないが、渡航前に日常会話レベル程度まで学習を進めておくこと。	
6	2017 年度秋セメスターに、大学が指定する履修推奨科目を履修する意志がある者(既に履修済の科目は除く)	履修推奨科目(予定) ※英語開講が望ましい <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計学 I</li> <li>・経営学入門</li> <li>・経済学入門</li> <li>・観光学入門</li> </ul>
7	渡航前準備として、2017 年度秋セメスター中に、SUAS で履修する一部科目(右記)について、自主学習を進められる者	Accounting 1 Economics 1 German 1 <※使用されている教科書の情報は、ガイダンス資料を参照> (アカデミック・オフィスホームページからダウンロード可能)

### (2)出願方法

共同学位プログラムの申請には以下の 3 ステップが必要です。

募集要項および以下の注意事項をよく読み、申請を行ってください。

以下の 3 ステップを申請締切までに完了していない場合は、書類不備となり選考を行いません。

#### Step 1: 以下の 2 つの書類および、証明写真(データ)を準備

オンライン申請の最後に写真をアップロードする必要があります。

以下の①②の書類はオンライン申請完了後に、アカデミック・オフィスに提出してください。

### ①経費支弁書(PDF)

経費支弁者に経費支弁書をダウンロードしてもらい、直筆署名をもらってください。その後、郵送で原本を受け取り、学生自身の署名を行ってください。経費支弁書は必ず原本で、経費支弁者および学生の直筆書名が必要です。FAX や PDF での提出は認めませんが、どうしても申請締切日までに提出できない場合は、ご相談ください。

### ②英語のスコアコピー (TOEFL/IELTS)

- ・コピーの裏側に、氏名および学籍番号を必ず記入してください。
  - ・原本はご自身で保管し、コピーを提出してください。
- (英語基準の学生も要提出。出願締切日時点で有効なスコアを出してください)

### 証明写真(データ)

- ・正面を向き、帽子、マスク、サングラスなどは着用していない写真データを準備してください。
  - ・過去 6 ヶ月以内に撮影されたものが望ましいです。
  - ・写真のファイル名は例に従い、「学籍番号\_氏名(アルファベット)」としてください。
- 例) 11111111\_RITSUMEIHanako.jpeg

Step 2: オンライン申請 (Lime Survey / English Only) (申請期間のみ入力可能です)

- ・オンライン申請は全て英語で回答してください。
- ・推奨ブラウザ: Firefox
- ・オンライン申請完了後は“Print your answers”をクリックし、申請内容を印刷し、保管しておいてください。ご自身の申請内容に関して質問がある際は、必ず印刷した申請内容を持参してください。
- ・申請に当たっては、現地でどのような学修をしたいか、将来の目標は何か、このプログラムに参加する意義は何か、これからどんな準備をするか、などをよく考えておいてください。

Step 3: オンライン申請完了後、以下の書類をアカデミック・オフィスに提出してください。

- **経費支弁書(PDF)**
- **英語のスコアコピー(TOEFL/IELTS)**

提出先: アカデミック・オフィス 提出ボックス No.3.

提出締切: 2017/7/10 (月)16:30

## (3)選考基準

選考は、成績審査、出願書類の審査、語学運用能力、面接審査の結果に基づいて、総合的に判断します。

### 学業成績(GPA)

- 通算 GPA : 1 回生終了時の通算 GPA が 2.80 以上。
- 当該 GPA (2017 年春セメスターの GPA) : 原則 2.80 以上であること。

## 語学運用能力

- 外国の大学で勉強生活を送るにふさわしい英語運用能力を有していること。
- 学内選考の際、出願時の言語条件を満たしていること。

## 面接（書類審査通過者のみ実施）

- 目的意識・留学計画が明確であること。
- 派遣国社会に溶け込むのに必要な適応性があり、自らの力で留学生活における困難を乗り越える力と、それに対する心構えを有していること。
- 進路・就職に対する計画・意識が明瞭であること。
- 言語運用能力の確認。

## (4)採用人数

上限 3 名

## 2.期間について

### (1) 派遣期間

- 2 年間（第 3 セメスター ～ 第 6 セメスター）

### (2) 留学期間

- このプログラムの留学期間は、以下の表の通りです。留学中は、学籍状態が「通常」から「留学」に変更されます。
- 学籍が「留学」であるセメスターに、APU で履修することはできません。
- 学籍が「留学」であるセメスターに、セッション科目や放送大学等も履修することができません。
- 実際の出発時期は、2018 年 2 月になります。

[2017 年派遣の場合の学籍状態]

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
	第 1～2 セメスター	第 3～4 セメスター	第 5～6 セメスター	第 7～8 セメスター
APU での学籍	通常	留学	留学	通常

## 3. 単位認定および留学中・帰国後の履修について

### (1) 単位認定について

- 派遣先での単位は、在学中のすべての単位認定を含め、APU の各セメスターの履修登録上限単位数に関わらず、60 単位を上限として認定を行います。
- 単位認定は、留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、教学部で審査の上、行います。
- APU の開講科目と全く関連性の無いもの（体育、芸術等）の単位認定は、原則として行いません。

- 単位認定の結果、留学先での単位がAPU設置科目に認定された場合、それ以後、APUにてその科目を履修登録することはできません。また、その科目をすでにAPUで履修済の場合は、単位認定をすることはできません。
- 認定された単位は、成績評価欄に[T]として記載されます。
- このプログラムに応募する際は、申請時の履修状況と照らし合わせながら、派遣先大学での履修科目や、帰国後の本学での単位認定と卒業及び進路について十分な計画を立てる必要があります。

## (2) 留学中と帰国後の履修について

留学中を含む、本学での履修計画は、各自の卒業時期に関わる重要事項です。履修計画によっては、4年間で卒業ができなくなる場合があります。必ず各自の履修状況と所属学部のカリキュラムを確認し、しっかりと計画を立てて留学に臨んでください。

### ① APS 学修分野について

自身が選択する予定の学修分野の必修科目については、留学開始までに修得することを強く推奨します。

### ② プログラム修了のための要件

SUAS 在籍中は、添付資料【SUAS 在籍中の履修コース】に従って、履修を進めることとなります。表中の科目は、全て必修科目ですので、これらの科目を不足なく履修することと、その他下記条件を満たすことが求められます。

- ①SUAS で毎年2月の第2もしくは第3週に開催されるウェルカムウィークに参加すること。
- ②IMT 主催のマーケットとイノベーションに関わる課外活動に最低1回は参加すること。
- ③IMT の教員の指導の下、IMT の5セメスターと6セメスター中(本プログラム上では6,7セメスターに相当)にそれぞれ学士論文1本ずつを提出すること。
- ④卒業に必要なECTS180単位を取得後、IMT の最終口答試験に合格すること。
- ⑤プログラム期間中に、インターンシッププログラムに最低228時間(通常6週間)参加すること。  
(※日本でも、海外でも可。休暇期間に日本に戻ってきて実施することも可。)

## (3) 言語教育科目(必修)の履修免除について (英語科目/日本語科目)

入学基準言語と反対の言語を履修する場合、その履修開始レベルはプレイメントテストの結果により入学時に決定されます。ただし、交換留学中に大学が指定する試験のスコアを取得し、APUで学習を再開する直前のセメスターに申請をして許可された場合に、英語科目/日本語科目の履修免除を受けることができます。

履修免除を受けた場合、次のレベルまたは適切なレベルの科目から履修を再開することが可能です。なお、履修免除を受けた場合、その単位数分を自由選択にて履修する必要があります。

- \*1) APU に復学する直前のセメスターの申請期間に申請をする必要があります。復学後以降のセメスターに履修免除の申請を行うことは一切できません。春セメスターの場合は1月中旬、秋セメスターの場合は7月中旬に申請方法等の詳細をアカデミック・オフィスホームページで発表します(予定)。
- \*2) 申請時には指定された試験のスコアシート原本と申請書を申請期間内に提出してください。スコアシートの原本とは、各試験を実施する協会が発行した、スコアレポートや合否の結果が明記された証明書、通知書等のことです。インターネットでダウンロードしたものは不可で

す。コピーや FAX や e-mail での申請はできません。原本の返却を希望する場合は、その旨をオフィスに伝えてください。

言語教育科目(必修)の履修免除に関するお問い合わせ: <cleac@apu.ac.jp>

#### 4. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて

\* 現在授業料減免を受けている学生も、留学中は減免を受け続ける事が可能です。ただし、留学中にも継続審査があります。

- その他、詳細はスチューデント・オフィスに確認をしてください。

#### 5. 留学にかかる費用について

- 留学中には、以下のような費用がかかります。

1) 授業料	2) 宿舍費	3) 食費	4) その他
APU に納入	自己負担 (現地通貨)	自己負担 (現地通貨)	渡航費、書籍代、保険料*、パスポート、ビザ申請料、娯楽費、大学附属機関における語学研修料、その他個人的活動に関わる費用等

\* 大学指定の海外旅行傷害保険(2年間で約20万円)、危機管理支援システム(2年間で約5万円)への加入が義務付けられています。これらは、出発前に一括で支払う必要があります。

\* 寮費は月額約338ユーロ(約47,000円)ですが、入居状況により必ずしも入寮できるとは限りません。

【留学先の費用目安(年間)】 約110-140万円

備考: 上記費用には APU 授業料は含みません。

注意

【国際学生、および国内学生のうち学費を自己負担している場合】

留学中は、原則、海外で学費支払手続きができません。学費支払を自分で行っている学生は、派遣内定後、所定の学費納付手続きをとり、派遣前に留学期間中に納付が必要な学費全額を用意する必要があります。多額の学費を経費支弁者が負担することになるため、申請前に十分に話し合ってください。なお個別に学費の確認を希望する場合は、内定後アドミニストレーション・オフィスへお問合せください。また学費納付方法について問題がある方は、内定後(あるいは申請前でも)、下記担当者に別途相談をしてください。

#### 【アカデミック・オフィス／共同学位プログラム担当】

TEL : 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

E-mail : [outbound@apu.ac.jp](mailto:outbound@apu.ac.jp)

担当者 : 村上 舞、川島 聡子